令和３年度革新的ロボット研究開発等基盤構築　間接補助事業　事業計画書

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究開発分野** | □Ａ１施設管理分野　□Ａ２施設管理分野　□Ｂ小売分野　□Ｃ食品分野 | | | | | |
| **事業者名** | 株式会社○○　（団体組織の場合は代表者） | | **開発場所** | ○○県○○市 | | |
| **事業者の業種** | ○○業 | |
| **積算概要**  （団体組織の場合は実施者の合計） | Ⅰ．施設等改修費 | 0 千円 | Ⅴ．消費税 | | 0 千円 |
| Ⅱ．装置等運用費 | 0 千円 | 事業経費総額(Ⅰ～Ⅴ) | | 0 千円 |
| Ⅲ．人件費 | 0 千円 | 補助額 | | 0 千円 |
| Ⅳ．旅費交通費 | 0 千円 |  | |  |

【**１．現在の自社事業・団体組織（または実施者）の概要**】

|  |
| --- |
| ※提案するロボットフレンドリーな環境構築事業の下地となる自社事業・団体組織（または実施者）の概要を記載するもので、提案に関わりの無い事業については記載不要。 |

【**２．研究開発提案内容**】

|  |
| --- |
| ※研究開発提案内容  　団体組織の場合、本研究開発提案における各実施者の役割分担等も記載のこと |

【**３． 期待される効果**】

|  |
| --- |
| ※経済性、汎用性、標準化、業界への普及など |

【**４． 本事業年度終了後のロボットフレンドリーな環境構築への取組**】

|  |
| --- |
| ※公募要領に記載されている、「開発課題」を解決するにあたっての全体スケジュール（本事業年度以降）と具体的な研究開発内容を記載のこと。そのうえで、上記「２．研究開発提案内容」が当該全体スケジュール上どこに位置づけられるかも明記すること。 |

**【５．事業計画スケジュール】**

|  |
| --- |
| ※事業期間中に実施する内容を記載  （例）  ・○年○月：ロボット・周辺装置を購入  ・○年○月～○月：効果検証  ・○年○月：標準化活動開始 |

**【６．体制】**

|  |
| --- |
| ※本事業に関わる体制（関係者）、協力関係  （例）  ・ロボットシステム検討：○○SIer  ・効果検証：○○百貨店（過去にも販売検証に活用実績あり）  ・標準化への取組：○○工業会（標準化委員会で中心的な活動実施） |